

谷津はなぜそこにあるのか

—畔田の調査から見える谷津の未来—

台地はなぜ平らなのか、舟底型の谷と谷壁斜面を持つ谷津はどのように形成されたのか。それは過去12万年間の関東平野の地史と水循環にヒントがあります。私たちは7年間に及ぶ畔田谷津の調査を通し、谷津の持つ複雑性の発見と未来への可能性を知ることができました。このシンポジウムをとおり、谷津が本来持っている魅力と恩恵に改めて目を向け、持続可能な印旛沼流域の環境の創生に迫りたいと考えています。

開催日時：令和7年11月29日（土曜日） 午後13：30～16：00

オンライン開催

ブ ロ グ ラ ム

司会進行：楠田隆（NPO法人水環境研究所理事）

1. 開催の挨拶
瀧 和夫 13：30～13：35
NPO法人水環境研究所 理事
2. NPO法人水環境研究所の紹介（20年間の歩み）
中村 正直 13：35～13：45
NPO法人水環境研究所 副理事長
3. 講演
 - （1）下総台地の地形形成と水循環
近藤 昭彦 13：45～14：15
NPO法人水環境研究所 理事長
 - （2）谷津の水循環とその機能（畔田谷津からの報告）
岩井 久美子 14：15～14：45
NPO法人水環境研究所 副理事長
 - （3）谷津の水循環と生態系
梅里 之朗 14：45～15：05
NPO法人水環境研究所 理事
 - （4）招待講演
原 慶太郎氏 15：05～15：45
東京情報大学名誉教授
4. 意見交換- 将来に向けた谷津の展望 15：45～16：00
5. 閉会の挨拶